

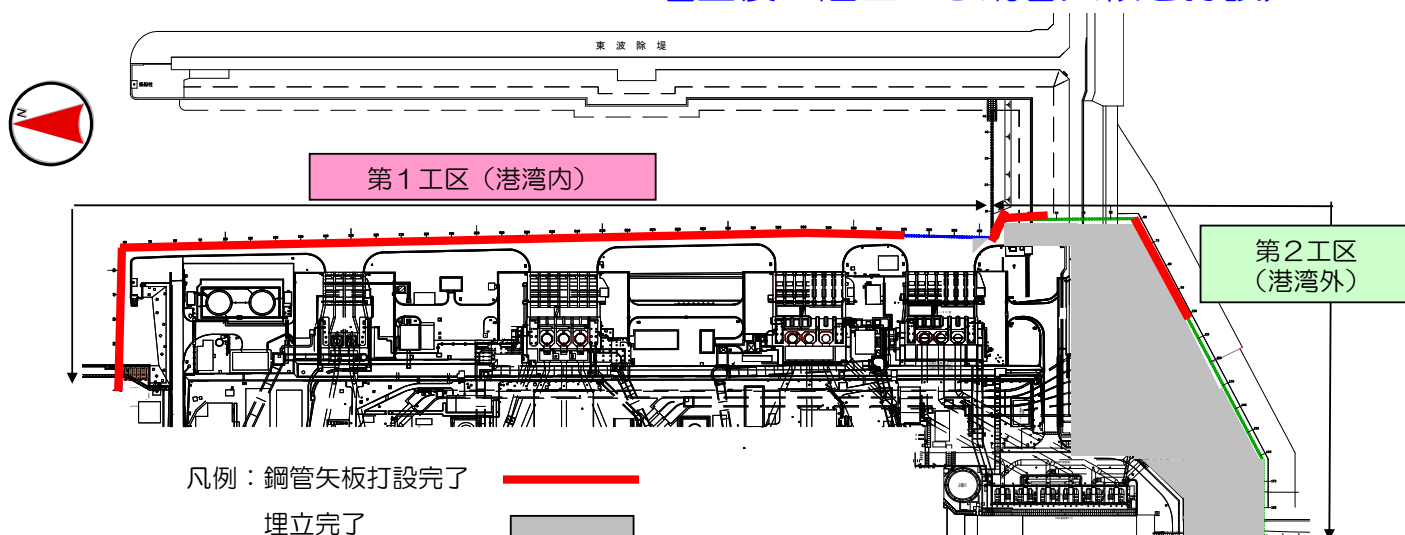
海側遮水壁の現状及び 下部透水層の水質調査結果

平成25年11月15日



(1) 海側遮水壁の進捗状況 (H25年11月13日現在)

- ①第1工区 (港湾内) の鋼管矢板打設完了 (369/404本)
(施工手順：喫水確保可能なので、船を用いて鋼管矢板を打設)
- ②第2工区 (港湾外) の鋼管矢板打設完了 (57/191本)
(施工手順：喫水確保できず船舶接近できないため、
埋立後に陸上から鋼管矢板を打設)



(2) 海側遮水壁工事の今後の予定とリスク

- 海側遮水壁工事は、鋼管矢板の打設と継手の止水処理、埋立、地下水ドレン設備（くみ上げ）、浄化設備等で構成され、H26.9竣工を目指して工事を進めている。
- 港湾内で実施中の鋼管矢板の打設は、十本程度を残して11月下旬までに一旦完了し、竣工前に閉塞する予定である。
理由は以下のとおり。
 - ・港湾外の遮水壁を閉塞させる前に港湾内の遮水壁を閉塞させると、タービン建屋東側における地下水の流れが変わり、汚染された地下水が港湾外に直接流出するリスクがある。
 - ・海側遮水壁閉塞時には、海側遮水壁内側の地下水のくみ上げを実施しないと、海側遮水壁内側の地下水位が上昇し、汚染された地下水が遮水壁外部（港湾内外）に流出するリスクがある。
 - ・ただし、くみ上げ水を放出せず貯留するとタンク貯蔵容量の逼迫につながる。

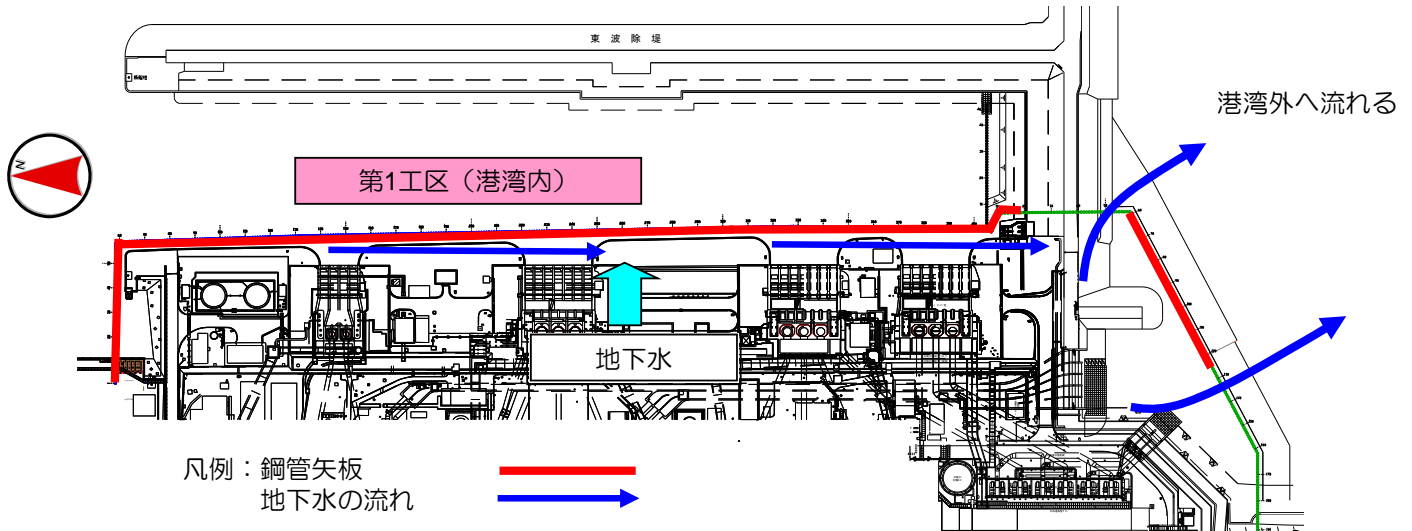
(3) 工事工程表（予定）

	平成25年			平成26年										備考	
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
														海側遮水壁竣工	
【港湾内】															
鋼管矢板打設	■														
継手止水処理	■			■											
埋立			■												
くみ上げ設備工事					■										
【港湾外】															
埋立	先行実施済み														
鋼管矢板打設	■			■											
継手止水処理	■			■											
くみ上げ設備工事					■										

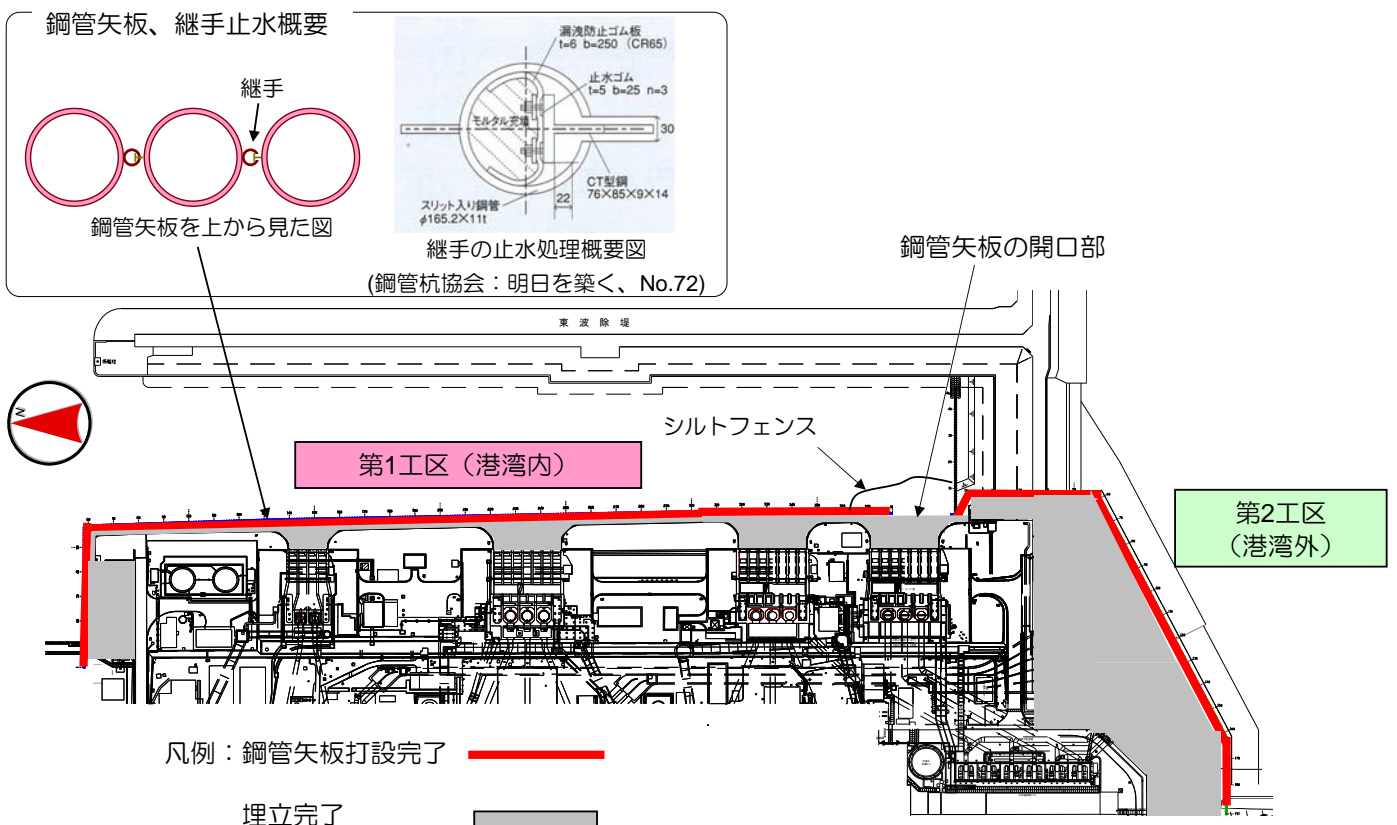
※ 気象条件などにより工程の変更あり

(参考) 海側遮水壁の進捗に伴う地下水の流れ

港湾内の鋼管矢板を先に閉塞してしまうと、汚染した地下水が港湾外に流出するリスクあり

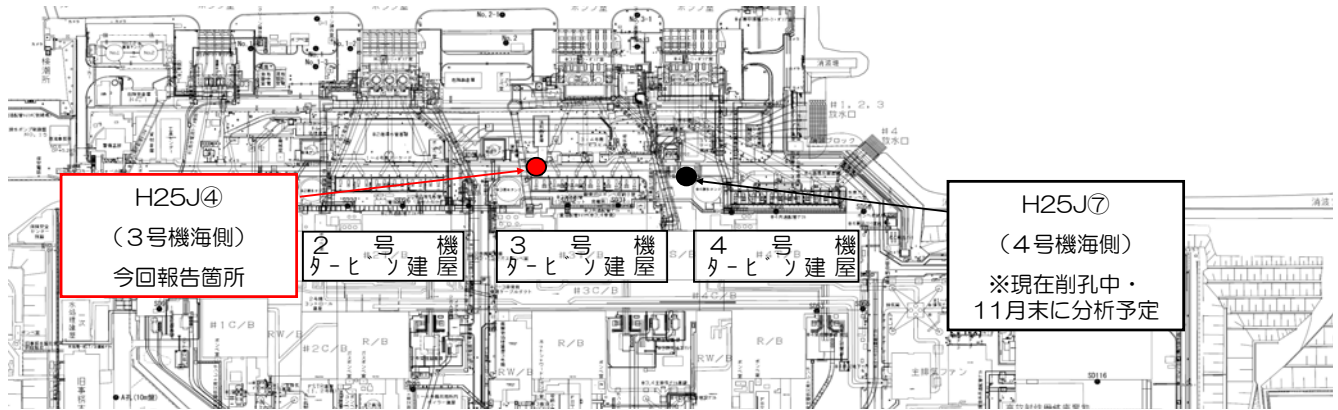


(参考) 海側遮水壁工事の竣工前のイメージ



(4) タービン建屋東側（海側）下部透水層の水質調査結果

○タービン建屋海側下部透水層（互層部）地下水採水位置



○分析結果

単位：Bq/L

	採水日	Cs134	Cs137	全β	Sr90	H-3
H25J④	H25.11.13	ND (0.4)	ND (0.5)	ND (12)	分析中 12月を予定	分析中 11/18の週を予定
H25J⑦	削孔中					

※NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。